

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館耐震補強事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	03	01	04	01	57
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり			主管課長	河原 智明				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館利用者	意図	福祉会館を最適な状態で使用してもらう。
事業内容	平成20年度に実施した耐震診断により、地震時に倒壊する可能性が高いと診断された南福祉会館の耐震補強工事を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度に旧建築基準法により建設された8館について耐震診断を実施したところ、南福祉会館が倒壊する可能性があるとして診断された。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	耐震補強が必要な施設数	1			
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成24年度、25年度の事業として、耐震補強工事設計及び耐震補強工事が実施された。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			7,733,000	14,231,700			
事業費(b)(円)			7,733,000	12,505,500			
うち一般財源			7,733,000	12,505,500			
職員給与費(c)(円)				1,726,200			
人役・職員(人)				0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	平成25年度中に実施設計及び耐震補強工事を実施しなければならない。	③取り組みの課題	
②今年度(H25)に実施した取り組み	耐震補強工事が完了した。(100%)	④今後の改善計画	